

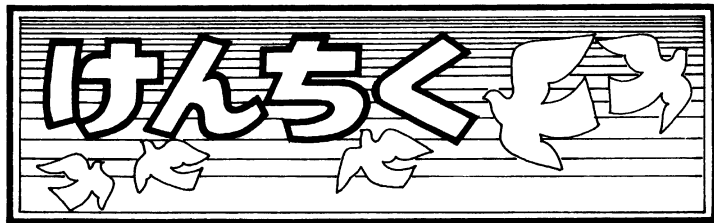
### 目黒支部集団健診

対象19歳以上の土建国保加入者

①会場：上目黒診療所・西小山診療所

②日程：9月1日(火)～10月30日(金)まで

受診券と受診カードを持参しマスク着用で。



購読料は組合費に含めて毎月徴収

東京土建一般労働組合
西南合同支部
渋谷区幡ヶ谷2-18-6
渋谷 6304-2315
世田谷 3413-3020
目黒 3719-2741
発行者 堀江 正
定価 1部 30円

## まだまだ 持続化給付金



8月5日と6日は目黒支部で税対部主催の持続化給付金申請会を開催、法人・個人合わせて7社の申請を行いました。

北部さくら分会の原田洋さん(塗装)は、分会の塩原勝男さん(左官)にすすめられて組合の申請会に参加。コロナの影響で3月の確定申告を延期していたため、1日目は、室井正則税対部長が申告相談を行い、原田さんは申告書を作成。翌日さくら目黒税務署

6月から連続して取り組んできた大手建設現場前宣伝、7月29日は、27人が参加し、豊洲市場の目の前にある清水建設の現場前で、16時過ぎから宣伝の準備開始。冷やしたペットボトルのお茶などに次回の建設工事従事者ホットライン「コロナでお困りの方気軽に」のティッシュをセットし16時半から現場から出てくる従事者に向

## コロナ禍、誰一人取り残さない

「お疲れ様」「困りごとがあったら電話ください」「アンケートにご協力ください」など、建設従事者に声をかけると、「埼玉土建に入ってるよ」「東京土建北支部です」

建設従事者、組合に加入・未加入にとらわれずに、コロナ禍で苦しんでいる人を一人取り残さない。東京土建が掲げた運動の大きな民主的階級的



豊洲の大手現場前で宣伝

10月には大手企業交渉も予定しています。現場の困ったやコロナの困りごとは支部までお寄せください。

副委員長 佐藤豊

## いきりモ開催

### 青年部

7月17日(金)20:00 各自の自宅や帰宅途中でも気軽に参加できる青年部主催「いきりモ」リモート交流会(いきりモ)が開催されました。全体で8人の参加。それぞれで飲み物の食べ物を用意し、交流を図りました。仕事からの帰宅中や家事の合間などお手軽に参加・退場ができ、普段参加しない部員が顔を



リモート交流会で盛りあがる

意義なイベントとなりました。時間のない若い世代のニーズに合った取り組みとして、コロナ禍でも新しい視点をお声がけください！

で工夫をして結果へ向かうたくましい青年部。みなさまの周りにも必ずありますので是非

## 大成建設現場で コロナクラスター発生

7月15日に大成建設は日本郵政本社ビル改修工事(霞が関)で15人(社員11人、派遣社員4人)が集団感染したことを公表しました。国

交省のガイドライン策定後、初めての大规模クラスター感染です。実は、大成建設は別現場で4月に新型コロナウイルスの感染者が発生していた!!

6月末、新宿住友ビル1階の足元と上空にガラス張りの巨大アトリウムが完成した。その特徴的な形から「三角ビル」の愛称で親しまれるこの超高層ビルは、大成建設が施工。現場では4月下旬、新型コロナウイルスの感染者が発生するも、大成はそれを一般に公表しなかった。この現場を担当した社員の中に、2年前の「丸の内3-12計画」の現場で、職人にどう喝まがいの口調で接していた者も。組合員からの現場情報をもとに、組合も現場宣伝に取り組み、改善させ

た経緯がある。職人を後現場の声を活かす人と思わない節があるように見える。また工期が短いことにも原因があると考えます。今書記次長 日下解人

**技能に見合う 賃上げと建退共を**

CCUS(キャリアアップシステム)申請をしました。本人の経歴、資格、特別教育、また表彰その他を申請し、自分の経歴がポイントカードのように入ります。大手ゼネコンから今後は二部ゼネコンにも徐々にキヤッチする機械が取り付けられていく。元請ゼネコンはこのシステムによって出面の確認ができ、またゼネコンが職人の技術レベルを見分ける方法を進めています。PAL 荒川 正男

**雑記帳**

原水爆禁止国民平和実行隊が7月27日に行われ、世田谷区の若林公園から世田谷公園、目黒区役所経由で渋谷神宮通公園までのコースに参加。世田谷には20人余りの方が集まり、保坂展人区長の核兵器廃絶に向けての決意を込めた挨拶の後、平和行進が発せられた。南部合唱団の大井団長が「日本は唯一の被爆国です。一日も早く核兵器廃絶のため、日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書の決議」をすることを呼びかけ、「核兵器では新型コロナウイルスを抑えることはできません。核兵器の爆買いはやめろ」のアピール、コースの途中では宣伝カーのマイクから「青い空は「折り鶴」などの平和の歌を響かせ、アピールを道行く人たちに訴えると、手を振ってこたえてくれる方がたくさんいました。目黒区役所のなかよし公園では目黒の仲間15人が集合していて、目黒原水協の青木清会長から核兵器廃絶の訴えと行進者への激励があり、渋谷へ向かいまして。被爆75年を節目に更に頑張らねばと一万八千歩を歩きました。(首)

